

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーカスシステムズ

コード番号 4662

URL <http://www.focus-s.com>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)森 啓一

問合せ先責任者 (役職名)取締役

(氏名)後藤 亮

(TEL)03(5421)7777

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,244	4.3	38	88.3	36	38.4	33	95.6
29年3月期第1四半期	4,068	14.9	20	△22.8	26	△14.3	17	△90.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	2.40	—
29年3月期第1四半期	1.23	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	15,351	7,409	48.3
29年3月期	14,567	7,258	49.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 7,409百万円 29年3月期 7,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		0.00	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,400	3.1	850	14.3	820	12.1	520	△5.7	37.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期1Q	16,292,942株	29年3月期	16,292,942株
30年3月期1Q	2,446,336株	29年3月期	2,446,336株
30年3月期1Q	13,846,606株	29年3月期1Q	13,846,606株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、政府主導の経済政策の効果もあって、雇用・所得環境の改善や、企業収益・設備投資の改善において、一部横ばいになっているものの緩やかな回復基調が続いております。

しかし、依然として、アメリカの金融政策正常化の影響や中国をはじめとするアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要があります。

情報サービス業界におきましては、AIやIoT、フィンテック等の最先端技術の動きを背景に、情報システムに関する投資意欲は高水準で推移しており、人材不足という状況が続いております。

このような状況の中、当社は、優秀な人材確保への採用投資、技術者一人ひとりの価値を高めるための教育投資、ガバナンス強化を目的とした社内管理体制への人的投資、並びに新規事業・自社製品の創出のための投資を行い、組織間の連携強化による強い組織の構築を図り、さらに予見されるビジネスチャンスを確実なものとするため、企業力の向上に努めております。

新たな取組みとして、日本マイクロソフト株式会社と連携し、サイバー犯罪の証拠データ分析の高速処理化を実現するソリューション「サイフォクラウド」の提供を開始しました。また、ARグラスと薄型BluetoothセンサーデバイスのFC S 1 3 0 1（業務用薄型ビーコン）を連携したARシステムの提供を開始しました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高は4,244百万円となり、前年同期と比べ増収となりました。利益面では、営業利益38百万円、経常利益36百万円、四半期純利益33百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期における総資産は15,351百万円となり、前事業年度末と比べ783百万円増加しました。

前事業年度末と比べ増減した主な内容は次のとおりです。

売掛金は605百万円減少し3,229百万円、仕掛品は190百万円増加し230百万円となりました。当社は工事進行基準を適用しておりますが、年度末に完了するプロジェクトが比較的多いことから、四半期末の数値は前事業年度末と比べ売掛金が減少し、仕掛品が増加する傾向にあります。

投資有価証券は418百万円増加し2,808百万円となりました。これは所有している投資有価証券の時価評価によるものです。

このほか、現金及び預金は752百万円増加し4,422百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じる方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,670,064	4,422,515
電子記録債権	24,135	66,957
売掛金	3,835,048	3,229,998
商品及び製品	83,058	71,529
仕掛品	40,485	230,534
繰延税金資産	170,350	170,350
その他	58,610	55,764
流動資産合計	7,881,753	8,247,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,204,720	1,205,193
減価償却累計額	△872,325	△878,590
建物及び構築物(純額)	332,395	326,603
土地	3,110,792	3,110,792
その他	383,629	388,289
減価償却累計額	△301,305	△290,641
その他(純額)	82,324	97,648
有形固定資産合計	3,525,512	3,535,044
無形固定資産		
ソフトウェア	203,379	189,318
その他	5,105	4,676
無形固定資産合計	208,484	193,994
投資その他の資産		
投資有価証券	2,390,585	2,808,842
長期貸付金	31,500	30,000
その他	560,983	565,662
貸倒引当金	△31,500	△30,000
投資その他の資産合計	2,951,568	3,374,504
固定資産合計	6,685,566	7,103,544
資産合計	14,567,320	15,351,194

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	834,919	795,984
1年内償還予定の社債	629,000	629,000
短期借入金	235,990	663,340
1年内返済予定の長期借入金	741,045	710,570
未払法人税等	120,293	37,470
賞与引当金	414,536	735,132
役員賞与引当金	-	7,500
株主優待引当金	19,051	14,011
その他	791,860	859,729
流動負債合計	3,786,695	4,452,737
固定負債		
社債	1,417,000	1,349,500
長期借入金	1,289,497	1,193,514
長期末払金	6,642	6,642
繰延税金負債	632,567	760,867
役員退職慰労引当金	176,000	178,000
固定負債合計	3,521,706	3,488,523
負債合計	7,308,401	7,941,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,905,422	2,905,422
資本剰余金	1,468,471	1,468,471
利益剰余金	2,069,354	1,929,557
自己株式	△706,490	△706,490
株主資本合計	5,736,756	5,596,960
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,522,161	1,812,972
評価・換算差額等合計	1,522,161	1,812,972
純資産合計	7,258,918	7,409,932
負債純資産合計	14,567,320	15,351,194

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,068,818	4,244,054
売上原価	3,691,048	3,835,904
売上総利益	377,770	408,149
販売費及び一般管理費	357,357	369,717
営業利益	20,412	38,432
営業外収益		
受取利息及び配当金	11,130	1,404
受取家賃	1,881	1,881
貸倒引当金戻入額	1,500	1,500
その他	3,873	3,143
営業外収益合計	18,385	7,928
営業外費用		
支払利息	10,554	8,791
貸与資産減価償却費	1,451	701
その他	514	500
営業外費用合計	12,519	9,993
経常利益	26,278	36,367
特別利益		
保険解約返戻金	-	10,715
投資有価証券売却益	-	3,444
特別利益合計	-	14,159
税引前四半期純利益	26,278	50,526
法人税等	9,260	17,240
四半期純利益	17,018	33,286

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。